

市町村名	嘉手納町
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1- 嘉手納町観光振興ちゅらまち景観創出事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容	観光資源へアクセスしやすい環境整備と景観美化の形成を行い、町内への誘客と魅力ある観光地づくりを推進するため、町内の主要箇所に多言語総合観光案内板及び道路名称看板、観光拠点施設内の多言語案内板を設置するとともに、ポケットパークを整備した。
------	--

実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()
------	-----------------------

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	59,982				
	(b)予算現額	63,922				
	(c)増減額(b-a)	3,940	0			
	(d)繰越額	-	39,196			
	A.計(b+d)	63,922	39,196			
	B.執行済額	24,689	38,577			
	うち交付金充当額	19,749	28,011			
	次年度繰越額	39,196	0			
	執行率(%) (B/A)	38.6%	98.4%			
予算の状況の説明	設計委託を実施するにあたり、関係機関への事業説明に時間を要したため繰越し、事業を実施した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		<ul style="list-style-type: none"> ちゅらまち景観創出事業実施設計の実施 総合観光案内看板設置工事の実施 主要道路愛称看板設置工事の実施 多言語施設案内看板設置工事の実施 ポケットパーク整備工事の実施 	目標	(看板類設置)	()	()
	実績	看板類設置				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	観光資源へアクセスしやすい環境整備と景観美化の形成を行い、町内への誘客と魅力ある観光地づくりを推進するため、町内の主要箇所に多言語観光案内板及び道路名称看板、観光拠点施設内の多言語案内板を設置するとともに、ポケットパークを整備した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		<ul style="list-style-type: none"> ちゅらまち景観創出事業実施設計の作成 総合観光案内看板の設置:2箇所 主要道路愛称看板の設置:7箇所 多言語施設案内看板の設置:2箇所 ポケットパークの整備 	目標	() (看板類24基)	()	()	()
			実績	看板類24基			
		[参考指標]	目標	() ()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	観光資源へアクセスしやすい環境整備と景観美化の形成を行い、町内への誘客と魅力ある観光地づくりを推進するため、町内の主要箇所に案内板等を設置し、市街地周辺のポケットパークを整備した。案内板等を設置したことにより町内市街地への観光客の誘客が見込まれる。						

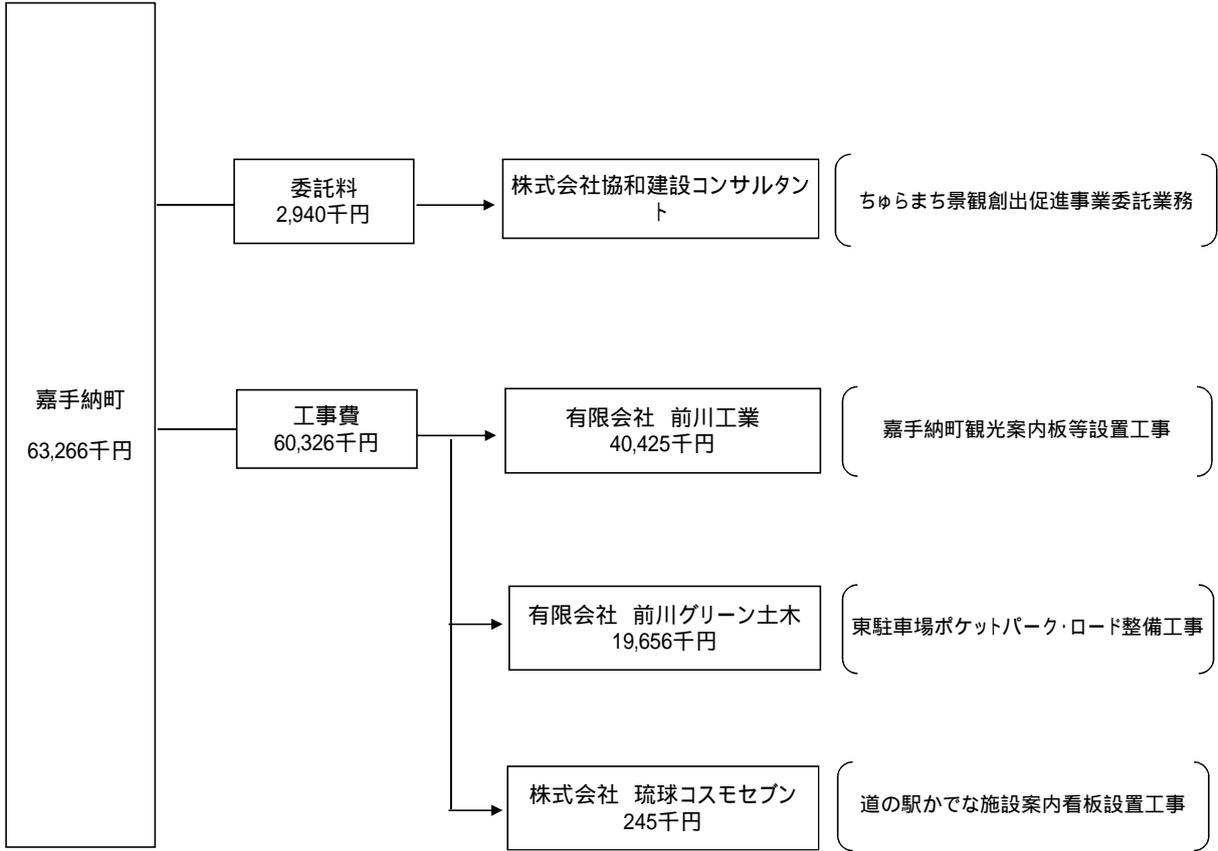
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケットパークについては、植栽や景観を維持していくためには費用がかかるため、今後の管理方法を検討しなければならない。 ・看板類については、現時点での施設案内板等は充足したと考えるが、今後観光関連の施設等を整備していく中で、要望が出てくることが想定される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民や自治会、町内企業等に呼びかけて除草などの管理を依頼し維持管理費の軽減に努める。 ・今後整備する観光関連施設等から案内看板等の設置要望があれば検証していく。

今後の取り組み方針

・町内の各種団体に呼び掛けし、町内の緑化による良好な景観形成に努める。
 ・案内看板等の設置要望を検証し、必要であるときは追加設置をしていく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
63,266	63,266	47,760	15,506	0



資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、指名競争入札により実績、企業規模等を勘案し選定しており、妥当であったと考えている。 観光資源へアクセスしやすい環境整備と景観美化形成の観点から町内の主要な場所への看板設置、中心市街地周辺の植栽等を整備したため支出については適正であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 嘉手納町観光史跡等説明板整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章 - 3 - (2) - イ				
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施（予定）年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	- 1 - (1)	
事業内容	地域資源・文化資源を活用した観光振興を図るため、観光基盤の強化に向けて、町内に点在する史跡・旧跡に説明板を設置する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,240	0			
		(b) 予算現額	13,020	0			
		(c) 増減額 (b-a)	220	0			
		(d) 繰越額	-	13,020			
	A. 計 (b+d)		13,020	13,020			
	B. 執行済額		0	13,020			
	うち交付金充当額		0	9,930			
	次年度繰越額		13,020				
	執行率（％）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		説明板の内容を多言語で表記することとなり、翻訳の確認、表記方法の変更等による説明板製作に、当初の計画よりも、期間を要することとなったため、説明板製造、輸送が遅れ工期期間内終了せず、繰り越した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光史跡等説明板設置工事の実施	目標	(9箇所)	()	()	()	
		実績	9箇所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	目標としていた設置箇所すべてに設置を完了することができた。 説明板を設置したことにより、町内外の方へ嘉手納町の史跡等について、周知することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	観光史跡等説明板の設置	目標	()	(9箇所)	()	()	()
		実績		9箇所			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	目標としていた設置箇所すべてに設置を完了することができたことにより、国内外観光客への情報発信を強化し、観光客誘客促進を図ることができた。					

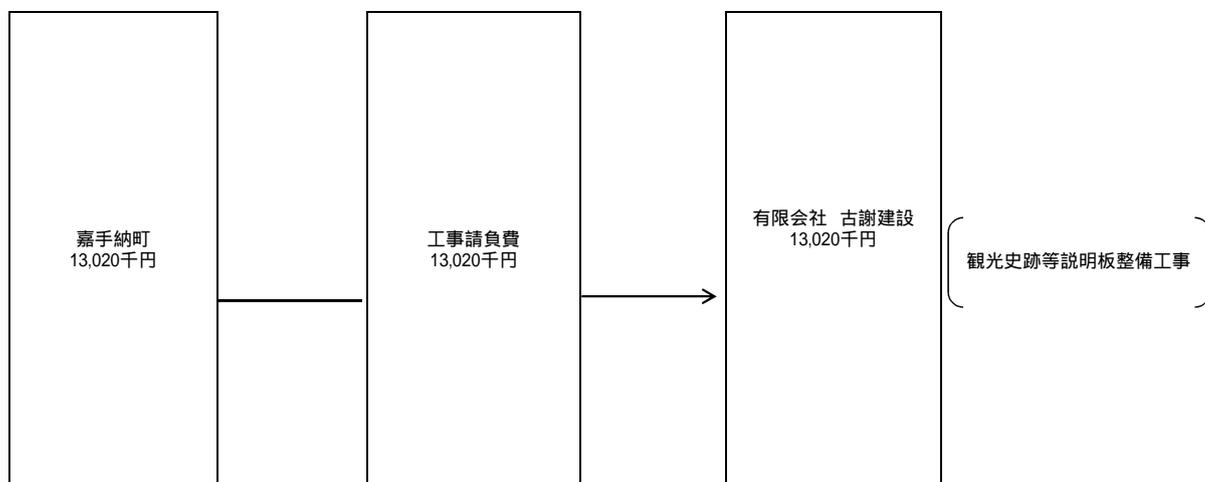
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 目標とする設置箇所すべてに設置を完了することができた。 地権者から承諾を得ることや設置場所の調整に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標とする設置箇所すべてに設置を完了することができた。 説明板設置箇所を広く検討し、地権者の承諾を得られる箇所から着手することにより、事業を円滑に進めることができる。

今後の取り組み方針

・町指定の文化財を中心に検討し、設置箇所を増やすことにより、町内の観光に資する場所を町内外に周知する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
13,020	13,020	9,930	3,090	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事請負業者は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 町内の指定文化財及び名所旧跡への説明板を設置しており、必要な工事請負費のみの支出であるため妥当であったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	嘉手納町
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3- 法定外公共物・未買収道路現況調査事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 - 12 - (2)

事業内容
戦後米軍嘉手納飛行場の建設により町域の大部分を接収された混乱期に、道路等の基盤整備が計画的に行われていないまま市街地が形成された。そのため本町のいたるところに筆数や面積を詳細に把握できていない法定外公共物や未買収道路が点在している。今後の良好な市街地形成を図るため、法定外公共物及び未買収道路を確定する調査を行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	15,803				
	(b)予算現額	15,593				
	(c)増減額(b-a)	211	0			
	(d)繰越額	-	15,593			
	A.計(b+d)	15,593	15,593			
	B.執行済額	0	15,592			
	うち交付金充当額	0	12,000			
	次年度繰越額	15,593	0			
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%			
予算の状況の説明	測量調査等において、付近住民や土地所有者への事前の調整等に時間を要した為、工期を遅延し繰越しとなった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		法定外公共物調査の実施要調査延長:27km	目標	法定外公共物・未買収道路現況調査の実施要調査延長27km	()	()
	実績	法定外公共物・未買収道路現況調査の実施要調査延長27km				
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
達成状況説明	法定外公共物及び未買収道路用地を明確化することができた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		法定外公共物・未買収道路調査率	目標 (100%)	(100%)	()	()	()
		実績	/	100%			/
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	
		実績	/				/
進捗状況説明	法定外公共物及び未買収道路用地を明確化することにより、今後の用地取得等を円滑に行うことができる。						

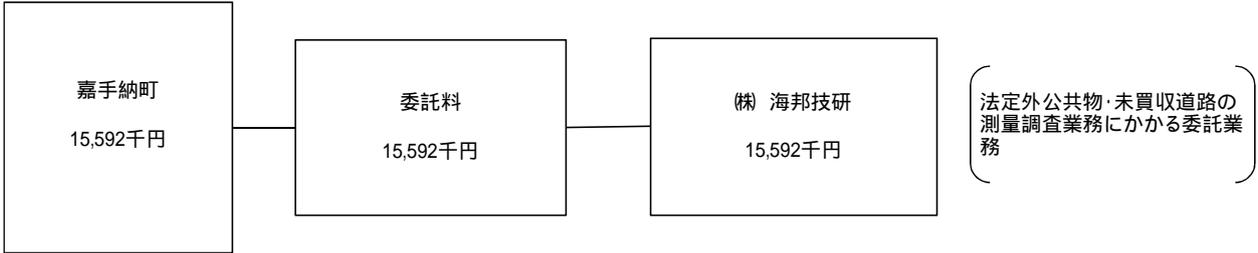
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	土地の現況調査を行うため、個人の敷地に入る必要がある。その際、所有者から苦情が出たり、又は拒否される場合があるため、調査に時間が掛かった。	事前に付近住民への説明や、作業員を確保し効率よく行う必要がある。

今後の取り組み方針

今後は付近住民へ事前の説明や、作業員の確保により効率よく行うことで、事業繰り越し等の問題を解決できるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,592	15,592	12,000	3,592	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、実績等を勘案したうえで指名競争入札を行った。よって、落札した業者は妥当であったと考えている。費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	